



MELON NEWS LETTER

Miyagi
Environmental
Life
Out-reach
Network



2026 年 7 月 | 第 158 号

へちま博士による特別授業

6月、へちま博士ことへちま農家の金井修氏による出前授業を仙台市立長命ヶ丘小学校5年生と桜丘小学校4年生、古城小学校4年生で行いました。金井氏は埼玉の畑でへちまを栽培しています。

「金井さんはへちまと会話をすることができる方です。」という紹介から授業は始まりました。へちま、キュウリ、ゴーヤの苗を見せて、どれがへちまなのか当てるクイズを出しました。この中で一番伸びるのはへちまです。校舎の4階まで行きます。金井さん自身がへちまに変身し、巻きひげに見立てた針金をグルグル回し、高いところを探して巻きつきました。やがて高いところに成った実はハッチ（底のフタ）を開けて、中にある多くの種をばらまきます。

「今のへちまの気持ちは何ですか。」「ポジティブな言葉をかけるとよく育ちますか。」「何でへちま博士になったのですか。」「こどもたちは興味津々で、次々と質問が出ました。へちま博士が持って来てくれたへちま、こどもたちが育てたアサガオとゴーヤの苗を植えて、それぞれの学校ではグリーンカーテンにしていきます。大きく育つとよいですね。



-INDEX-

- P1 へちま博士による特別授業
- P2 「みやぎクリーンアクション学習会」を開催
広瀬川の水質調査と水の神さま
- P3 みんなの活動アルバム
- P4 お知らせ

7月5日(土)

「みやぎクリーンアクション学習会」を開催

5月30日に行った「みやぎ海のクリーンアクション in 亘理町荒浜海水浴場」の報告とともに、サントリーフーズ株式会社のCSR活動や水平リサイクルの取り組みについてご紹介しました。

後半は、東京農工大学名誉教授の高田秀重氏による講話を行いました。

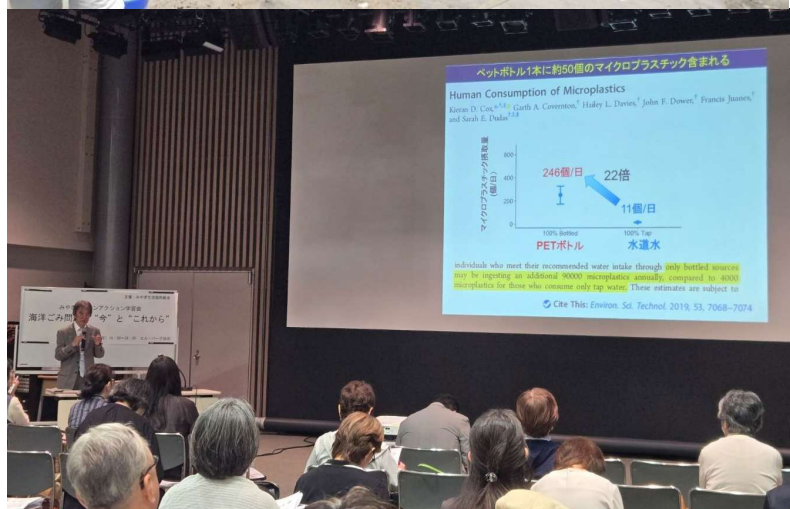
先日の亘理町の海岸清掃では、ビニール袋やペットボトルなどのプラスチックごみが多数見つかり、採取したマイクロプラスチックには人工芝の破片なども混ざっていました。高田先生のお話によると、これらはポイ捨てだけでなく、廃棄物処理の過程で漏れ出たものが川を経由して海へ流れ出ているケースも多いそうです。

また、海岸のプラスチックは熱や紫外線で劣化しやすいため、「海岸にある大きなごみを今のうちに拾うこと」が、将来のマイクロプラスチックの抑制に深くつながるということも学びました。

さらに近年の研究では、海洋生物や海鳥だけでなく、人間の血液や組織からもマイクロ／ナノプラスチックが検出されており、免疫系への影響も懸念されているという衝撃的な事実も紹介されました。

プラスチックごみを減らすため、繰り返し使える金属やガラス、陶器、あるいはバイオマス素材へ置き換えていくことの重要性を学ぶとともに、私たちの日常生活からできるアクションについて考える貴重な機会となりました。

➡5月30日の海岸清掃と、7月5日の学習会の詳細は、MELONウェブサイトのブログでも紹介しています。ぜひそちらもあわせてチェックしてみてください！



広瀬川の水質調査と水の神さま

水部会では毎年6月に広瀬川の水質調査・水辺観察を行っています。6月14日(日)、広瀬川の上流から下流の5カ所の調査を行いました。今年は天候の良い日が続いていたため、上流から下流までCOD数値に大きな変化はなく、千代大橋では水の透明度は下がったものの、おおむね良好な水質が保たれていました。

※COD（化学的酸素要求量）は、どれだけ有機物が含まれているかを示す指標で、水環境の汚染度や浄化の進み具合を客観的に評価できます。

現在水部会の活動の中心となっている水の神さま調査では、広瀬川流域に祀られている水の神さまも訪れています。青葉区作並元木には温泉にまつわる「湯神神社」、熊ヶ根大原には青下ダムの「水分神社」、日本の水力発電発祥の地である青葉区荒巻の山居沢発電所の奥には「山居沢不動尊」、若林区河原町には広瀬川の氾濫を抑えるために自ら犠牲になった行人を祀った「古城神社」があります。

関山から名取川に合流するまでの45kmに、地域住民のさまざまな水への願いを込めて守られてきた広瀬川。水部会では、これからも水環境の保全と伝承の活動を継続していきます。

みんなの活動アルバム



MELONの活動の様子をレポート。詳しい活動報告はウェブサイトで公開中

<https://www.melon.or.jp/wp/melonblog/>



推進員の委嘱状交付式と研修会が開催されました。仙台管区気象台より防災気象情報のお話の後、交流ワークショップを実施。新たなメンバーと活動開始です。

4月23日

ストップ温暖化センターみやぎ
地球温暖化防止活動推進員
95名が活動を開始



「みどりの月間」に合わせて青葉山公園追廻地区で開催された新緑祭。木の名前当てクイズは、皆さんヒントを読み、木に触れながら楽しんでいました。

4月25日

みやぎ里山応援団
「新緑祭」でブース出展
木の名前当てられるかな？



緑のカーテンづくりは種まきや苗植えの他、縄や網を張る作業も大切です。MELONでは自然素材の麻縄を使用。縦に張った後「XX」状に横を繋ぐのがポイント！

5月28日

ストップ温暖化センターみやぎ
緑のカーテン
5〜6月は各所で麻縄張り作業



多くの来場者で賑わったコーすけまつり。うちエコ診断で具体的な省エネ提案の他、発電体験グッズではゆるキャラの「にゃんごすたー」も楽しんでいました。

6月20日

ストップ温暖化センターみやぎ
「コーすけまつり」で「うちエコ診断」
あなたの家の省エネ策！提案します



市名坂小学校は2026年度全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会の研究公開校です。ケンタロオさんのキリバスのお話に次々と質問が出ていました。

6月25日

ストップ温暖化センターみやぎ
SDGs環境出前講話キリバス編
仙台市立市名坂小学校5年生



総合的な学習の時間で「環境と防災」をテーマに学んでいる4年生。今回は「SDGsと環境問題」を題材にお話し、海洋ごみのサンプルにも興味津々でした。

6月29日

ストップ温暖化センターみやぎ
出前授業「SDGsと環境問題」
仙台市立岡田小学校4年生

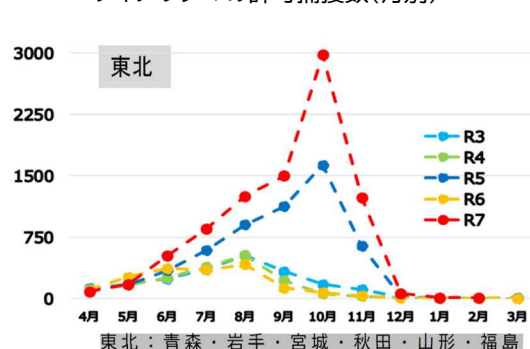
！夏のクマに注意！

夏は、キャンプや川遊びなど、野外での活動が増える時期。クマの出没は例年6月がピークで、その後は減少するとされていましたが、令和7年度は7月以降でも増加傾向で、秋に大きく増加しました。許可捕獲数でも、東北では夏以降捕獲数が多くなっています。（右図）夏はクマの生息地である奥山の食べ物（キノコ、農作物など）を求めて人里近くに出没するようになります。また夏は交尾期でもあるためオスの行動範囲が広がり、親離れた若いクマは人里へ迷い込むこともあります。

クマと遭遇しないよう、朝夕の行動は避け、クマがいそうな場所には近づかないようにしましょう！



ツキノワグマの許可捕獲数(月別)



クマへの餌やり禁止／ゴミ放置禁止／クマに接近しない
Do not feed bears/Do not leave rubbish/Do not approach bears

お知らせ ①

「みやぎ環境とくらしフェスタ 2026」

今年の MELON フェスタは、MELON を知らない方でも内容がシンプルに伝わるよう名称を「みやぎ環境とくらしフェスタ」に改めて開催します。
どうぞお気軽にお立ち寄りください！

■日程：2026 年 9 月 26 日（土）11：00～15：30

■場所：JR 仙台イーストゲートビル 1F ダテリウム
※入場無料 ※来場自由

■出展団体：株式会社エフピコ、J A 宮城中央会、
尚絅学院大学人文社会学類、仙台青葉学院短期大学
こども学科、NPO 法人フォレストサイクル元樹、
宮城県森林組合連合会、みやぎ生活協同組合、
ヤマト運輸株式会社宮城主管支店

お知らせ ②



うちエコ診断受診者募集中！環境省認定の「うちエコ診断士」が、専用ソフトであなたのくらしに合わせた家庭の省エネ術をアドバイスします。診断は無料です。

https://www.melon.or.jp/contents/Global_Warming/uchieko/uchieko_index.html



持続可能な社会の創り手を育てる

みやぎのSDGs環境学習支援

今年も SDGs 環境出前講話の募集がスタート！「キリバス編」「南極編」「環境・防災編」の3テーマの専門家が学校を訪れて講話をします。小学校4～6年・中学校・高校等の計30校を募集中！

<https://www.melon.or.jp/study/>



ストップ温暖化センターみやぎとは

宮城県地球温暖化防止活動推進センターの通称「ストップ温暖化センターみやぎ」。MELON は、2000 年に宮城県知事より指定を受け、同センターを運営しています。
同様の機関は全国にあり、1998 年に制定された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化防止活動の拠点として各都道府県知事や政令指定都市等の市長が指定しています。



※全国 58 箇所（2026 年 4 月現在）

MELON ニュースレター・情報紙のバックナンバーを公開しております
<https://www.melon.or.jp/wp/magazine/>



MELON を支える協同組合



みやぎ生活協同組合



JA 宮城中央会

宮城県農業協同組合中央会



宮城県漁業協同組合



宮城県森林組合連合会

発行元

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階

TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713

E-mail：melon@miyagi.jpn.org

ウェブサイト：<https://www.melon.or.jp/>



MELON への寄付・入会のお願い

MELON の活動は、会員の皆様からの会費や寄付により支えられ、みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会の協力により運営されています。MELON の活動にご賛同いただける方からのご支援をお願い申し上げます。

【目的及び事業（定款より）】

この法人は、地域の自然環境及び水環境、地球環境並びにくらしに関する調査、研究を実践し、広く県民に対して地域と地球環境に関する学習及び活動の場の提供を行い、もって地球環境の保全に寄与することを目的とする。

MELON 会員 359 名
（法人 47、任意団体 7、個人 305）
※2026 年 6 月 30 日現在

寄付・会費のお支払いの際には オンライン決済をご利用ください

＼寄付はこちら／



＼入会はこちら／



※Syncable というファンドレイジングサービスサイトに繋がります。

※寄付のみ Amazon Pay もご利用いただけます。

※5 年会員の方は、ご利用いただけません。

Instagram



Facebook



メルマガ
“MELONnews”

